

# ODA

## 沖縄脊髄損傷者連合会

# しゃりん

# 99

発行：沖縄県身体障害者福祉協会

編集：沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211

〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1 西棟2階 ボランティア小規模団体室

E-Mail sekiren@proof.ocn.ne.jp

HomePage <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/>

## 平成23年度 障害者団体等幹部研修会に参加して

去った3月30日に県総合福祉センター「ゆいホール」にて開催された「平成23年度 障害者団体幹部研修会」に参加しました。同研修会には5年前から毎年参加していますが、毎年の事ながらその時の社会情勢に合わせた演題の設定や講師の選定には感心します。

平成23年度の演題は「障害者制度の現状と課題について」とし、講師に、内閣府障がい者制度改革推進会議担当室長の東俊裕氏を招き、平成25年4月1日の施行に向けて、新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律案の概要説明が主な講演内容でした。また障害者基本法の新旧対照表や障害者総合福祉法の骨格

に関する総合福祉部会の提言概要の資料も配られ、ポイントとなる部分の説明もユーモアを織り交ぜながら分かりやすく説明してくれたので、とても良い勉強になりました。



## 脊髄損傷者相談会を開催して

リハビリテーションクリニックやまぐち 院長 山口健  
(元沖縄リハビリテーションセンター病院リハビリテーション科部長)

去る平成23年12月3日脊髄損傷者相談会を当院で開催していただきました。当院は回復期病棟を中心とした病院です。これまで入院で、もしくは外来で脊髄損傷の方々にリハビリテーションを提供して参りました。今回相談会に参加して、実際の脊髄損傷者のお話を伺えたことは大変勉強になり

ました。私たち医療者は教科書的な知識や病院の中での経験で、基本的な体力や日常生活動作の獲得を目標に、または痙縮(つっぱり)や関節の可動域確保、疼痛の緩和を目標にリハビリテーションを行っています。しかし、私たちが見ているのは一側面であることを再確認しました。人には

生活があり、人生があります。脊髄損傷によっておこる様々な問題がそこにはあり、悩みがあり、なかなか人に相談することができないことも多いのだろうと感じました。病院では解決できない(医者に言ってもしょうがない?)事がたくさんあるのだと思います。この相談会が、当事者にしかわからない個別の悩みが解決まではできな

くても参考となる話が聞ける場になり、そのようなことが広く認知され、大きな活動になることを期待しております。そして私も微力ながら応援できればと考えております。

### ピアサポート(相談援助事業)

交通事故等で突如として重度障がいになってしまった方を同じ障がいをもった仲間がサポートします。病院や施設・家庭を訪問、不安や悩みを一緒に解決し、社会復帰の手助けをします。

脊髄損傷の障がいが発生する原因として、交通事故、労働災害、スポーツ事故、疾病などそのほとんどが中途の障がい、障がいの原因も多岐にわたるため複雑な問題が生じます。そのことを踏まえ、障がい者自立支援制度を含むあらゆる制度に関する情報提供や利用の援助、コーディネーターを中心とした同じ立場の者が病院のケースワーカーや地域の保健士、障がい者相談支援事業所等と連携を密にしながら、自分自身の体験を軸とした介護問題、住宅環境問題、移動問題等のアドバイスや情報提供を行い脊髄損傷者の社会参加の促進、福祉の向上につなげます。

沖脊連では事務局にコーディネーターを配置し、同じ仲間として、対等な立場であらゆる相談に応じますので是非ご利用ください。

#### 実施内容

- 1) 同じ障がいを持つ立場の者が、体験を基にしてアドバイスを行なう「ピアサポート活動」を展開するために、コーディネーター及び巡回相談員を配置し、脊髄損傷者及び重度障がい者、その家族への援助活動を実施しています。
- 2) 県内の障がい者支援施設を訪問し入所者との交流や情報交換会等を実施しています。
- 3) 脊髄損傷患者のための社会参加ガイドブック『Together』を無料配布します。本ガイドブックは、脊髄損傷患者の社会参加に必要な情報を当事者の目線で、それぞれのカテゴリー別に製作したもので、患者のニーズ応じて適時適切に提供することで患者が本来持っている能力を発揮し、自立した社会生活ができるよう支援することを目的にしております。これからはじめて社会参加する脊髄損傷患者に必携です。

「1984年創立の沖脊連の活動を会員の皆さんへ伝え続けてきた機関紙しゃりんが、次号発行で100号を迎えます。そこで、これまでの活動のことや思い出など、会員の皆さんから投稿を募ります。原稿の送り先は、沖脊連事務所宛てでメールでもかまいませんので、多くの皆さんからの投稿をお待ちしております。」



— 興味のある方は、ぜひ体験してみてください —

# ☆ ハンドサイクル試乗会 ☆ in Okinawa

障害のある方はもちろん、一般の方、どなたでも参加OKです！



《友人や家族と楽しめること》

|     |  |
|-----|--|
| 主催  | 沖縄県障がい者スポーツ協会・四輪舎                        |
| 協力  | テレウス・ハンドサイクルクラブ つむじ風                     |
| 日付  | 平成24年6月16日(土)                            |
| 時間  | AM. 10:30 ~ PM. 15:00 (午前：説明会、午後：試乗会を予定) |
| 場所  | 豊崎海浜公園内 (美らSUNビーチ)                       |
| 参加費 | 無料                                       |
| 申込み | 試乗会(講習)場所に直接お越しください。                     |

※昼食はバーベキューを予定しています。(食費 ¥ 1,000)

(昼食希望の方は、1週間前迄に申し込みをお願いします。)

【お問い合わせ先】沖縄県障がい者スポーツ協会(前川)

TEL/FAX : 885-6747 E-mail: okiparasp23@yahoo.co.jp

## 「障害者にもケアプラン作成？」

昨年10月から障害者自立支援法改正に伴う変更等がありますが、皆さんは知っていますか？特に、今年4月からは、訪問介護やデイサービス等の障害福祉サービス利用者に対しては、原則すべて「サービス利用計画書」を作成することとなりました。

ただし、すべてをすぐにとというのは難しいことから、重度障がい者で障害区分認定5以上や新規利用者を当面は優先し、平成26年度にはすべて作成することを目標に各市町村で始まっています。この「サービス利用計画」を作成するのは「指定特定相談事業者」に配置されている「障がい者相談専門員」というケアマネジャー的専門職が総合相談も代理手続きも担えるようです。福祉サービス利用中の又は予定の会員の皆さんは即座に所在の市町村福祉窓口にお問い合わせください。

# 伊江島フェリー乗船記

ゴールデンウィークの5月5日・6日にリフレッシュ目的に伊江島「土の宿」とゆり祭りを見に行ってきたのですが、その移動で利用したフェリーが今年2月に導入したバリアフリー対応型だったので、その乗船体験を報告します。



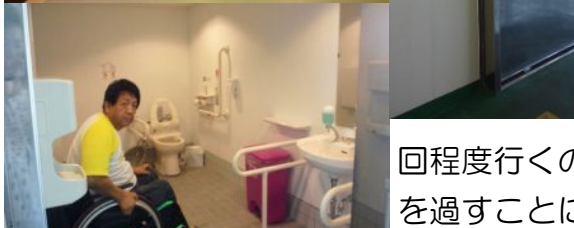
発行人  
沖縄県南風原町字神里六三一  
沖縄県身体障害者福祉協会

編集人

沖縄県那覇市首里石嶺町四一三七三一  
沖縄県総合福祉センター西棟二F  
ボランティア小規模団体室・沖縄脊髄損傷者連合会しやりん編集部  
砂川昭人



乗船アクセスは、船先の車乗り入れ口(1階部分)にエレベーターがあり、乗り込んで上下の2つボタンで昇降しました。上は4階部分にあたり、2階・3階は乗客利用階ではないということでした。上の客室スペースは、こども等の家族スペースもあり、席は約300席はあったと思います。その席には高齢者やハンディキャップ優先席もあり、そして車いす専有スペースもありました。気になるトイレは多目的トイレ(異常に広い)もあり、他にも保育や授乳室もありました。ユニバーサル性も高く、想像以上に対応力は良かったと感じました。この航路の所要時間は30分なので、特に課題は感じなかったのですが、長時間航路の船バリアフリーはまた違う視点が必要なのだろうと思います。それでもはじめてのバリアフリー船の乗り心地はとても良く、時代の流れを大きく感じました。余談ですが、目的の「土の宿」は、木村浩子さんという重度脳性マヒ者で、約32年前に広島県から沖縄伊江島に移住してきて、福祉と平和の運動拠点としての民宿を始めたというユニークな方で、尊敬している方です。年に1回程度行くのですが、この宿は何もなく、ただ、ボーとした日を過ごすことに幸せを感じる癒しスポットなのです。特に夜は宿泊者や地域の方々と酒を酌み交わして、交流する楽しさが味わえる場所です。お薦めですよ。



乗船アクセスは、船先の車乗り入れ口(1階部分)にエレベーターがあり、乗り込んで上下の2つボタンで昇降しました。上は4階部分にあたり、2階・3階は乗客利用階ではないということでした。上の客室スペースは、こども等の家族スペースもあり、席は約300席はあったと思います。その席には高齢者やハンディキャップ優先席もあり、そして車いす専有スペースもありました。気になるトイレは多目的トイレ(異常に広い)もあり、他にも保育や授乳室もありました。ユニバーサル性も高く、想像以上に対応力は良かったと感じました。この航路の所要時間は30分なので、特に課題は感じなかったのですが、長時間航路の船バリアフリーはまた違う視点が必要なのだろうと思います。それでもはじめてのバリアフリー船の乗り心地はとても良く、時代の流れを大きく感じました。余談ですが、目的の「土の宿」は、木村浩子さんという重度脳性マヒ者で、約32年前に広島県から沖縄伊江島に移住してきて、福祉と平和の運動拠点としての民宿を始めたというユニークな方で、尊敬している方です。年に1回程度行くのですが、この宿は何もなく、ただ、ボーとした日を過ごすことに幸せを感じる癒しスポットなのです。特に夜は宿泊者や地域の方々と酒を酌み交わして、交流する楽しさが味わえる場所です。お薦めですよ。

沖縄脊髄損傷者連合会 会長 仲根建作

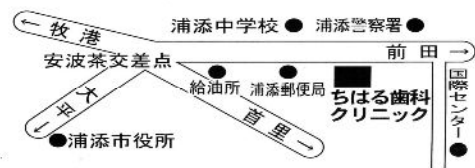
## ちはる歯科クリニック CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!

対象者:在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。  
病院、保健施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

購読料は会費に含む  
【頒価二十円】